



公益財団法人栃木県国際交流協会 (TIA)
 Tochigi International Association
 〒320-0033 宇都宮市本町 9-14 とちぎ国際交流センター内
 TEL 028-621-0777 FAX 028-621-0951
 E-mail tia@tia21.or.jp URL http://tia21.or.jp

TIA トピックス

ハンガリー紹介セミナー

TIA 設立 30 周年記念誌 (WEB 版) 発行!

JICA 情報局

高校生国際協力実体験プログラム



TIA は「やさしい日本語」の普及を促進しています。



▲一橋大学 庵 功雄教授による「<やさしい日本語>と多文化共生のまちづくり」と題した記念講演会

TIA 設立 30 周年記念式典 & 記念講演会

栃木県国際交流協会 (TIA) は、今年が設立 30 周年の節目の年として、10 月 12 日 (土) に記念式典および記念講演会をとちぎ国際交流センターの多目的ホールで開催しました。

式典では、当協会会長である福田富一県知事、副会長の五十嵐清県議会議長、来賓代表として JICA 筑波の高橋政行所長からのあいさつの後、設立当初から賛助していただいた法人、団体の代表の方に福田会長から感謝状を贈呈しました。式典には歴代理事長、事業で連携を行っている県弁護士会、県行政書士会、県内の市町国際交流協会のほか、現在の法人、団体の賛助会員の皆さまにご臨席いただきました。

式典後は、当協会が普及に努めている「やさしい日本語」をテーマに、一橋大学国際教育交流センターの庵 功雄教授をお迎えして、「<やさしい日本語>と多文化共生のまちづくり」についての講演を行い、記念式典ご出席の皆さまのほか、一般の方併せて 84 名が参加しました。

感謝状授与 (法人) 栃木銀行、栃木放送、栃松井ピ・テ・オ・印刷
 (団体) 足利大学、いっくら国際文化交流会、栃木経済交友会、栃木県日韓親善協会、(一社) とちぎ農産物マーケティング協会 *敬称略、五十音順

30th Anniversary

TIA はおかげさまで 30 周年



とちぎグローバルセミナー2018

7月21日(土)～9月15日(土) とちぎ国際交流センター

今年でちょうど10回目となる「とちぎグローバルセミナー」(主催:TIA、JICA 筑波)は、全部で21のセミナーを実施しました(7月21日～8月4日に実施した8つのセミナーについては「やぁ!」9月号をご覧ください)。

8月18日以降に実施した13のセミナーは、英語ディベート(実施団体:宇都宮高校英語部)、マレーシア紹介(宇都宮大学ハラル研究会学生の会)、小学生対象の2つのワークショップ(シャプラニールとちぎ架け橋の会)、フィリピンのゲーム(PETJ)、中国水墨画体験(蘭竹坊)、ブラジルのカポエイラ(Sou Capoeira)、アメリカと中国

紹介(ネパール支援有志の会サンガサンガイ)、青年海外協力隊活動報告(栃木県青年海外協力隊OB会)、ジェンダー問題(アムネスティ・インターナショナル宇都宮グループ)、タイの文化紹介(NPO法人デックタイグループ)、台湾の中秋節(栃木台湾総会)、でした。



▲フィリピンの鬼ごっこ「パーティンテロ」を楽しむ参加者

インドネシアから助産師等研修員が来県

10月24日(水)～11月5日(月)



母子保健に携わるインドネシアの助産師等研修員16名が、「JICA 青年研修事業」(委託先:TIA)の一環として来県しました。

研修員は、国や県の母子保健行政について

▲大野医院(鹿沼市)で助産師の大野氏(左)から説明を受けるインドネシア研修員

での講義を皮切りに、真岡市と宇都宮市の母子保健に関

する住民サービス、助産院・産婦人科医院・中核病院などの医療機関及び小学校の保健の授業などを視察し、日本の母子保健のさまざまな取り組みについて積極的に学びました。

外国人のための法律相談会

11月10日(土) 10:00～12:00、13:00～15:00

とちぎ国際交流センター

栃木県弁護士会と関東弁護士会連合会との共催により、県内に住む外国人住民を対象に無料法律相談会を実施しました。家族の問題や金銭トラブル、雇用関係などについて様々な国籍の方から通訳を介して相談を受けました。
※なお、通常法律相談会は、毎月第一火曜日 10:00～12:00に行っています。相談料も通訳料も無料です。(要予約)

災害時外国人支援体制検討会議

11月7日(水) 佐野市役所

11月28日(水) 鹿沼市民情報センター

災害が起こったときに、日本語が十分でない外国人に正確な情報を迅速に伝える手段、支援体制、課題等を共有するため佐野市、鹿沼市において、市役所担当課、市国際交流協会、企業や留学生担当、外国人住民の代表とともに検討会議を行いました。

会議では東日本大震災の際に多言語支援を担当した仙台観光国際協会の菊池哲佳氏の事例紹介のほか、互いに組みあわせる必要など活発な意見交換を行いました。



▲多分野から構成された検討会議

TIA 外国語講座 とちぎ国際交流センターで開催しました!

とちぎ おもてなし英会話

9月22日(木)～12月20日(木)

講師:平野聖乃氏

栃木県の観光地や特産物、日本の文化などを外国人観光客に英語で説明したり、おもてなしを楽しく学びました。

はじめての台湾中国語

10月13日(土)～

12月22日(土)

講師:陳虹君氏

台湾中国語の発音、簡単な挨拶、台湾観光で便利な表現を学びました。



▲受講者に問いかける講師の陳氏



栃木県・鹿沼市総合防災訓練

9月2日(日) 鹿沼市栗野総合運動公園

県と鹿沼市が行う防災訓練において、外国人住民への情報提供を担う「災害多言語支援センター」の設置・運営訓練のため、栃木県国際課、鹿沼市地域活動支援課、鹿沼市国際交流協会、鹿沼市在住外国人の皆さんと参加しました。

訓練は震度7の地震が発生したと想定され、外国人を避難誘導する訓練のほか、会場の授乳室、給水所等において、やさしい日本語を含めた多言語ポスターを作成し貼る訓練を行い、わかりやすい表現やイラストを描いて工夫しました。



▲ 会場で作成した多言語シートを貼る

ハンガリー紹介セミナー

10月13日(土) とちぎ国際交流センター

2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおけるハンガリー陸上競技団の事前トレーニングキャンプ地が栃木県に決定したことから、ハンガリー紹介セミナー「ハンガリーの魅力って何？」を開催しました。

講師はワグナー・ナンドール記念財団理事の和久奈ちよ氏わぐなー ちよと栃木県立足利高等学校2年の後藤秋連氏ごとうしゅうれん。和久奈氏は、夫でハンガリー出身の彫刻家のワグナー・ナンドール氏との出会いや益子町での活動について、後藤氏は、ハンガリーの高校に1年間留学した体験やハンガリーの歴史や文化等を紹介しました。



▲和久奈氏(中央)と後藤氏(右)

グローバル人材確保支援事業

栃木県からの委託事業で、海外展開を目指す県内企業とグローバル人材と呼ばれる海外留学経験者や外国人留学生等を対象に、企業のグローバル人材確保を支援することを目的に実施しています。

[グローバル人材のための合同企業説明会]

9月27日(木) 栃木県総合文化センター

県内企業就職に関心のある留学生等のグローバル人材が参加し、各企業のブースにおいて、担当者から各社の情報、業務内容などの説明を聞いたり、積極的に質問をしていました。

[グローバル人材採用促進セミナー&交流会]

10月25日(木) とちぎ国際交流センター

栃木労働局と共催で、県内企業を対象に外国人を採用する際の在留資格変更の説明、元留学生による就職活動体験やグローバル人材を採用した企業の事例報告等を行いました。

[グローバル人材のための県内企業バスツアー]

11月6日(火) 佐野市&小山市

グローバル人材を採用している(株)バンテックと(株)おばねやを県内大学で学んでいる留学生が訪問し、職場見学のほか業務内容や就職した元留学生の話の話を聞きました。



▲合同企業説明会の様子



▲業務の説明を受ける参加留学生

「災害時の外国人支援って何？」

ボランティア入門講座

9月28日(金) 那須塩原市厚崎公民館

災害時の外国人支援について外国人と共に学ぶ研修会を那須塩原市および那須塩原市国際交流協会との共催で開催しました。講師はNPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事の柴垣 禎氏。講義は、災害時の外国人支援の枠組み、外国人への情報提供のポイント等。

後半のグループワークでは、災害後に起こり得る困りごとや外国人住民に配慮した地域での支え合いについて話し合いました。



▲話し合いの結果をまとめる参加者。中央は講師の柴垣氏

「みんなの防災教室」

11月10日(土) 足利市生涯学習センター

11月17日(土) とちぎ国際交流センター

日本人と9か国以上の外国人が防災や避難について学ぶ防災教室を開催しました。足利市においては、足利市および足利市国際交流協会との共催。講師にNPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事の麻田友子氏とNPO法人栃木県防災士会の須藤事務局長らを迎え、日本の災害、日頃の備え、避難所生活の話のほか、防災グッズ作りや非常食作りの見学と試食を行いました。



▲ポリ袋で防寒着を作り、着てみる参加者



やさしい日本語 出前講座

下記の研修会において、TIA 職員の田島亮子が講師を務めました。両会場とも熱心に受講していただきました。

やさしい日本語の輪が少しずつ広がっています！

・小山市外国人児童生徒教育研修会

11月8日(木) 小山市立旭小学校

〔対象〕外国人の子どもが在籍する学校の教員等

〔主な内容〕外国人保護者とのコミュニケーションのためのやさしい日本語について



▲小山市での研修会の様子



・外国人に対する「やさしい日本語」職員研修

11月13日(火) 那須塩原市役所

〔対象〕市役所職員、相談員等

〔主な内容〕窓口などにおけるやさしい日本語での話し方や伝わりやすい文の書き方について

TIA ボランティア&インターンシップ



▲料理教室の準備を手伝う萩原さん

栃木県立宇都宮中央女子高校1年の萩原亜衣さんが、「とちぎグローバルセミナー2018」や「みんなの防災教室」の会場準備や当日の運営などTIA ボランティアとして活動しました。萩原さんとは中学校の職場体験(宮チャレ)からのご縁。おかげで楽しいイベントになりました！

白鷗大学経営学部経営学科4年の末村友季奈さんが、とちぎグローバル人材育成プログラムの一環で、8月～10月の20日間インターンとしてTIAの業務を実習しました。イベントの準備や片付け等の裏方の仕事も積極的にこなし、30周年記念式典では、得意のピアノを披露してくれました。



▲ネパールの民族衣装を着てイベントの受付

JICA 情報局

JICA 筑波 高校生国際協力実体験プログラム ~栃木県内の高校生 39名が参加~

12月8日(土)、JICA 筑波にて『高校生国際協力実体験プログラム』が開催され、栃木県、茨城県の高校生総勢94名が参加しました。

このプログラムでは、SDGs(持続可能な開発目標)を学び、世界と日本の課題を知ったうえで、高校生のできるアクションプランを作成しました。

今年度、栃木県からは9校、39名の皆さんが参加しました。初めて会った高校生同士が、自分の意見を言ったり、他の人の考えを聞いて、協働しながら一つのプランを生み出していきました。お互いの意見を認め合う事で、それぞれの考えが広がる良い機会となりました。SDGsを世界のコトではなく、自分ゴトとして捉え行動して行く第一歩となったと思います。

ここでまとめたアクションプランは来年4月20日(土) JICA 筑波一般公開で発表されます。



▲ワークショップで意見交換する高校生

JICA 栃木デスクよりセミナーのお知らせ

JICA 教師海外研修&実践授業報告会

1月19日(土) 13:30~16:00

国際理解セミナー

1月26日(土) 13:30~15:30

場所(上記どちらも):

とちぎ国際交流センター(宇都宮市本町9-14)

ご質問、お問い合わせはお気軽に

【お問合せ】JICA 栃木デスク 028-621-0777

TIA 30周年記念誌〔WEB版〕を発行しました！



TIA 設立30周年を記念して、平成20年度から29年度までの10年間の取り組みをまとめました。

たくさんの写真とともに、TIAの歴史や栃木県の国際化、多文化共生への歩みがわかります。

ぜひご覧ください！！

<http://tia21.or.jp/>

Memorial_magazine.html



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会

住所 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内

TEL 028-621-0777(代表) 028-627-3399(相談専用)

業務時間 8:30~17:15 休館日 日曜・月曜・祝祭日・年末年始